

# 本町の取組から



## 第4回 関西教育ICT展

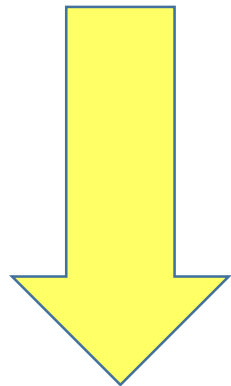
令和元年8月2日

静岡県榛原郡川根本町教育委員会

# 川根本町の紹介

水と森の番人が創る癒しの里

人口6,700人弱の小さな町



小学校4校：202人  
中学校2校：90人



川根本町ならではのICT教育

強みを生かす

環境を生かす

つながる・つなげる

川根本町型 ICT教育の創造（中山間地のモデル）

# 各自治体それぞれの強み・環境を生かす！

「子どもたちに必要な力」 → キャリア教育

「先進地に学ぶ」 + 「強みを生かす」 = ○○型の創出

「主体は学校」 → 「イメージを共有する」

「Win Win」の関係でつながる → 応援団をつくる

フィードバックのサイクルをつくり進化 → 持続可能

# 「子どもたちに必要な力」 → キャリア教育



子どもたちが日常的に活用

# 教育の情報化に関する教員研修の取組

○教育委員会職員・教員による先進地視察研修（H27～29）



**H29調査研究**  
熊本県高森町視察研修  
茨城県古河市視察研修



**「先進地に学ぶ」**

「主体は学校」 → 「イメージを共有する」

先生方が気持ちよく取り組める体制を創る

学校の声が聞こえる



「Win Win」の関係でつながる → 応援団をつくる

# フィードバックのサイクルをつくり進化 → 持続可能

見通して、常に新しいものを！

## 【基本的な考え方】

- 1、2018年度の「実践・定着」の成果を受けて、2019年度は「発展・総括」の年とする。  
→導入機器やソフトウェアをより効果的に活用し、授業の効率化と学力向上につなげる。  
教員間で積極的な活用事例共有、ICTサポート支援によるICTリテラシー格差是正や授業活用を促進。
- 2、ICTを活用し、英語教育とプログラミング教育の推進。  
→GTECを指標とした英語4技能指導の強化。プログラミング教育の継続。
- 3、「学校情報化優良校」から「学校情報化先進校」へ  
→ICTを活用したアクティブ・ラーニングの実践や家庭との連携など先進的な取組にチャレンジ。

## 【年度毎の位置づけ】



毎年、少しずつ進化・深化させながら…

持続可能なICT教育のシステムを5年間で構築